

山梨の大学生ら 学習を支援 カフェが寺子屋に



寺子屋の運営方法などについて話し合う大石紗矢香さん(左)と林夏凜さん

活動のきっかけとなったのは、甲府市古府中町のカフェ「Pied nu(ピエヌ)」で、約2年半前から開かれて

活動を知った団体代表で東大大学院1年の大石紗矢香さん(22)＝静岡県藤枝市＝が共感。4月に団体を立ち上げツイッターなどで呼び掛け、山梨、静岡両県の学生ら約40人が参加。山梨県内では山梨大、山梨県立大、都留文科大の学生15人が所属する。

いた学習支援。山梨大生が店の営業終了後の約2時間、無償で地域の小学生に勉強を教

山梨、静岡両県の学生が中心となり、営業時間外のカフェで小中高生の学習指導をする学生団体「Café de(カフェ・デ) 寺子屋」が発足した。甲府市内のカフェでの7月の開校を皮切りに活動を全国に広げたい考え。長期休校の影響で詰め込み教育が懸念される中、運営する学生は「自由に学ぶことの楽しさを子どもたちに伝えたい」と話している。

「学ぶ楽しさを伝えたい」

〈戸松優〉

ナウイルスの感染状況を見ながら7月の開校を目指す。学習支援ボランティアの経験がある山梨大2年の林夏凜さん(19)＝甲府市大手1丁目＝が運営準備を進める。林さんは「正解を教えるのではなく、解答に至るプロセスと一緒に考えていきたい」と言う。

学生の経済的負担などを軽減するため、今後はNPO法人化して寄付などを募り、活動拠点を全国に広げていく。「Café de 寺子屋」への問い合わせはメール、fo@cafe-de-terakoya.jp